

(別紙1)

管理運営状況 評価シート【令和4年度】

(評価日令和5年6月20日)

1 施設の概要

施設名	岩手県千貫石森林公園
所在地 電話・FAX HP・電子メール	金ヶ崎町西根字後千貫石 15-1 電話 0197-43-2002 (千貫石もりの学び舎管理事務所) HP http://www.ozawakougyou.co.jp/
設置根拠	森林公園条例 (昭和55年3月25日条例第26号)
設置目的	(設置:平成4年5月1日) 県民の保健、休養及び森林に対する知識の普及向上に資するとともに、青少年の森林に関する体験的学習による森林愛護思想の高揚を図る。
施設概要	公園面積 975ha 建物面積 もりの学び舎 (延べ364.48㎡) 主な施設 もりの学び舎、野鳥観察小屋、あずまや
施設所管課	岩手県農林水産部森林保全課 (電話 019-629-5797 内線 (5797)、メールアドレス AF0012@pref.iwate.jp)

2 指定管理者

指定管理者名	有限会社小沢興業
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日 (5年間)
連絡先	住所 胆沢郡金ヶ崎町西根中稲沢2番地 電話 0197-44-3682

3 指定管理者が行う業務等

業務内容 (主なもの)	1 施設及び設備の維持管理に関する業務 2 その他森林公園の利用の促進に関する業務		
職員配置、管理体制	3名 (令和4年4月1日現在) (内訳) 代表者1名、正職員1名、管理人1名 (その他、公園内整備作業時やイベント開催時に数名の職員を配置している)	組織図	<pre>graph TD; A[代表取締役] --- B[森林公園管理]; A --- C[工務]; A --- D[総務]</pre>
利用料金	物品販売等 (1人1日までごと 530円)、業として行う写真撮影 (1日までごと1台ごと 210円)、展示会等 (1日までごと 4,720円)		
開館時間	9時～16時	休館日	毎週月曜日 (祝日の場合は翌平日) 冬季 (12/1～3/31)

4 施設の利用状況

(単位:人)

(利用者数、稼働率等)	前期間平均	指定管理期間						備考
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	期間平均	
第1四半期	3,228	2,686	3,840	2,577	2,704	2,433	2,848	
第2四半期	2,604	2,802	2,411	2,095	1,872	2,051	2,246	
第3四半期	2,044	1,533	1,439	1,392	1,586	1,518	1,493	
第4四半期	0	11	0	0	16	16	9	
年間計 (実績)	7,876	7,032	7,690	6,064	6,178	6,018	6,596	12～3月閉館
年間計 (計画)		-					-	

5 収支の状況

(単位：千円)

区分	前期間 平均	指定管理期間						備考
		H30年 度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	期間 平均	
収入	利用料金収入	5	0	0	5			
	県委託料	4,312	4,493	4,535	4,577	4,577	4,598	4,556
	自主事業収入		0	0	0			
	雑収入	8	23	26	24	46	34	31
	小計	4,325	4,516	4,561	4,606	4,623	4,632	4,587
支出	人件費	2,451	2,475	2,566	2,651	2,606	2,669	2,593
	維持管理費	1,873	2,041	1,995	1,955	2,017	1,963	1,994
	事業費							
	自主事業費							
	小計	4,325	4,516	4,561	4,606	4,623	4,332	4,587
収支差額		0	0	0	0	0	0	

6 利用者の意見等への対応状況

(1) 利用者意見（満足度等）の把握方法

把握方法	・積極的に対話機会を作り、利用者の反応（要望・不満）をくみ取る。 ・イベントでアンケートを実施する。	実施 主体	有限会社 小沢興業
------	---	----------	-----------

(2) 利用者からの苦情・要望

受付件数	苦情 1件、要望 0件、その他 28件		
主な苦情、要望等	対応状況		
<p>【苦情】（メールにて） もりの学び舎の西にある野鳥観察小屋に続く散策道は、草や笹が繁茂しており通行できない状況でした 本年5月に訪れた時も笹が繁茂しており、歩くのに苦労しましたが観察小屋までは行けました その後も放置されている様に見受けられましたが、刈払いはされないのでしょうか 自然豊かな散策路が放置・荒れ放題で、地元の一利用者としてとても残念に思います</p>	<p>【弊社回答】（メールにて） ご指摘ありがとうございます。現状はご指摘の通り把握してました。原因は予算不足により作業員配置が出来ないというのが実情です。 背景には豪雪により春の開園に向けての除雪費や倒木処理費、雪害補修費が例年以上にかかり、予算見直しにつきましては次年度以降に向けて折衝中です。決められた予算内でメイン道路等優先順位を決めて環境整備してるのが今シーズンの現状です。 ご利用者様にはご不便をおかけして申し訳なく存じます。今回のご指摘を真摯に受け止め優先順位の見直しを含め改善に努力します。</p>		
<p>【問い合わせ】 ①公園・施設利用について（26件） ②イベントについて（1件） ③園内の植物について（1件）</p>	<p>①園外保育利用・森林学習の利用の他、趣味（コスプレ）としての写真撮影などに来園して頂いている。園外保育・森林学習では引率対応、写真撮影については撮影スポットを案内しながら利用指導を行った。 ②問い合わせ頂いた時点での開催予定をお伝えした。 ③問い合わせに随時回答している。</p>		

【その他】	
【その他利用者からの積極的な評価等】 特になし	

7 業務点検・評価（※）

(1) 業務の履行状況

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
運営業務	①管理運営期間：4月1日から翌年3月31日まで ②休場日：月曜日及び12月1日から翌年3月31日まで ③利用時間 9時～16時 ④使用許可等：申請方法や受付時間、利用料金やその免除基準等を広報等で広く周知、また、受付台帳での管理や許可証発行、備品貸付等行なう。 ⑤利用料金：県の承認を受けたものとし、利用当日徴収する。また、減免する場合は県と協議し設定した免除基準に従う等適正に処理する。 ⑥利用者に対する公平性等の確保	①管理人または副管理人が常駐し管理業務および来客対応している。 ②毎週月曜日を休館日とし、祝祭日にあたる時は翌平日を休館日としている。 ③利用時間の前後30分から管理人が常駐し、開館前の清掃や閉館後の自主点検を行っている。 ④使用許可・備品貸出は申請書を提出して頂き許可書を発行している。判断しかねる場合は、県の担当者に相談し許可の決定を行っている。また、必要に応じて使用の際の指導も行っている。 ⑤利用料金は岩手県の承認を受けて設定している。 ⑥来館者に対し、正当な理由もなく入館を断るなど、差別的対応はしていない。	A
施設の利用状況	来園者 7,500人以上	6,018人（うち「学び舎」1,441人） 新型コロナウイルス感染拡大防止による行動制限が緩和され、小学校・保育園等の校外学習や園外保育の利用がコロナ以前の状況に戻りつつある。 （以下、直近3年の実績） 森林学習 R2年度4件 R3年度7件 R4年度6件 ガイド対応 R2年度2件 R3年度8件 R4年度9件	B
事業の実施状況	イベント等の開催 （森林学習会等）	（R4実績） ・千貫石の森を歩こう会（6・10・3月） ・木工教室（中止）	A

<p>施設の維持管理状況</p>	<p>①保守管理、清掃、保安警備、外構、植栽管理、環境衛生管理、廃棄物処理の各業務の適正な実施 ②施設及び設備の法定点検の実施 ③設備、備品等管理物件の適正管理 ④鍵の適正な管理 ⑤避難経路の確保</p>	<p>①基本協定書内の「岩手県千貫石森林公園管理運営業務内容明細書」に基づき、遂行している。 【保守管理】施設の点検項目を設定し、閉館後毎日実施している。(休館日を除く) 専門的知識・技術を必要とする業務は委託を行い、適正に管理している。 【清掃】施設については開館前に毎日実施している。東屋等の施設は、巡回時に点検しながら随時実施している。 【保安警備】巡回時、利用者に声を掛けながら行っている。不審者や迷惑行為を発見した際は、警察に連絡しパトロールを強化してもらうよう依頼している。 【外構】冬季閉鎖の前に生け垣や建物の雪囲いを行っている。 【植栽管理】岩手県千貫石森林公園管理運営業務内容明細書内の刈払い作業回数を最低ラインとし、巡回時に車道や東屋周辺の環境を確認しながら随時作業した。専属管理人が他の業務で対応できない時は、小沢興業本社の作業員で対応した。 【環境衛生管理】森林植物の盗掘や、ごみの不法投棄があった際は警察に通報しパトロールを強化して頂いた。注意喚起の表示貼付・看板の設置を行った。 【廃棄物処理】不法投棄を発見した際はすぐに回収し、閉鎖前に適切に処理している。 ②消防設備の保守点検(年2回) 污水处理施設保守点検(年3回) 建築設備点検(年1回) その他、自主点検(日常・定期)を実施している。 ③貸出備品は、貸出前と返却後に点検を行い、不具合がないか確認している。 ④学び舎事務所の鍵付保管ボックスで管理している。管理人が常持しているマスターキーは、管理人が休暇の際、小沢興業本社に預け、本社で管理している。 ⑤避難路周辺に物を置かないよう徹底している。また、毎年防災訓練を実施している。</p>	<p>A</p>
<p>記録等の整理・保管</p>	<p>業務日誌、点検記録、整備・修繕等の記録簿の整備・保管</p>	<p>業務日誌を毎日記載(休館日を除く)し、小沢興業本社で保管している。その他、帳簿書類・点検記録表・修繕関係書類、作業記録など、各々のファイルに整理し、専用の鍵付きキャビネットで保管している。</p>	<p>A</p>

<p>自主事業等、提案内容 の実施状況</p>	<p>①森林学習 ②千貫石の森を歩こう会 ③木工教室</p>	<p>①森林学習 町内の施設(2件)・・・森林の役割についての学習や、もりの学び舎展示室の木製遊具を体験してもらった。 生涯教育センター(1件)・・・夏休み企画として公園を利用して頂き、ガイド講師として弊社代表小澤が引率対応した。 町内の小学校(2件)・・・町内の小学校2件対応した。 町内子供会(1件)・・・子供会の森林活動について相談があり、学び舎の施設見学と木育スペースの利用、クリスマスリース作りを行った。 ②千貫石の森を歩こう会 ・春の歩こう会(参加者:20名) 森林インストラクターの方にガイド講師を依頼し、コース下見・選定も行って頂いた。昼軽食の提供中止(代わりに東館様でカップアイス交換)等、参加者同士の密を避ける対策で実施した。 ・秋の歩こう会(参加者:9名) 春の歩こう会と同様の対策を取り実施した。 ・冬の歩こう会(参加者:10名) 雪崩のリスクが少ないコース選定とコース整備を行った。また、普通に歩く・かんじきを履いて歩く区間をそれぞれ設定し、足の負担にならないよう配慮しながら実施した。 ③木工教室(中止)</p>	<p>A</p>
<p>(施設所管課評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果のあった点 協定に基づき、適切に管理運営を行った。 近隣施設や協力団体との連携により、参加者のニーズに応えるイベントの企画を行い、森を歩こう会のイベントではリピーターが増加している。 保育園・小学校に対して行う森林学習が好評で前年度を同程度に開催依頼に応え、子供達が森林への理解を深める機会を提供した。 また、ホームページの随時更新、新聞や観光情報誌等の様々なメディアを利用してイベントや公園のPRを積極的に行った。 ・改善を要する点 特になし。 		<p>A</p>	

(2) 運営体制等

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
職員の配置体制	知識・経験を有する人員が配置され、職員が仕事内容を十分把握している。	施設の専属管理人として1名をまりの学び舎に配属している。 小沢興業本社には、森林公園の運営全般と従業員の教育・指導する代表者と、帳簿管理等の事務業務を行う職員（兼副管理人）がいる。その他、作業員が5名在籍しており、必要に応じて草刈・枝打ち・側溝清掃等の作業を行っている。 防火管理者有資格者は代表者である。	A
苦情、要望対応体制	①来園者及び利用者に施設利用について丁寧に対応して理解を求める。 ②クレームには双方協議の上解決する。	①施設の修理・費用に係る案件は、クレーム（要望）内容、対応内容、その後の処置等を県の担当者へ必ず連絡している。 ②R4年度は、協議が必要な案件は発生していない。	A
危機管理体制（事故、緊急時の対応）	①緊急時対応、防犯・防災対策マニュアルの作成 ②災害時等対応に係る訓練の実施 ③公園施設の日常点検及び巡視の実施 ④劣化損傷の未然防止、劣化損傷に対する取替え、補修 ⑤利用者への指導・助言・注意等	①防犯管理マニュアル、災害危機管理マニュアル、消火訓練マニュアルを作成し、管理人・担当職員へ周知した。 ②8月27日に、千貫石森林公園で行われた金ヶ崎町消防団火災防衛訓練へ参加し、消防職員から通報訓練のご指導を頂いた。参加者は代表者・専属管理人・副管理人である。 ③自主点検項目を設定し、日常点検は毎日（休館日を除く）、定期点検は月末に1回実施し記録している。巡視は午前と午後にそれぞれ実施し、東屋等の施設の点検・清掃や、利用者への声掛けを行っている。 ④冬期閉鎖期間の積雪による損傷防止の為、閉鎖前に施設と生け垣の雪囲いを行っている。昨年に引き続き大雪となり、パトロール実施に困難な状況ではあったが、月に1回の状況写真撮影を行い報告している。開園準備としての施設周辺除雪の際に、積雪による被害と思われる施設損傷や倒木被害を発見し、速やかに報告している。 ⑤熊の出没状況を公園管理に関わる従業員で情報共有し、問い合わせがあった際には最新情報を提供できるようにしている。	A

コンプライアンスの取組み、個人情報の取扱い	法令遵守、公の施設の公共性及び公平性の確保、個人情報の適正な管理（漏洩、滅失、改ざん防止、目的外利用、従業員への周知等）のための措置を講ずること	①建築基準法・消防法・労働基準法・森林公園条例を遵守している。 ②個人情報が記載されている受付名簿は、1組1枚記入する短冊形のカードを利用し、記入して頂いた都度回収し小沢興業本社にて保管している。 ③労務関係手続き等でマイナンバーを必要とする際は、使用する理由を記載した提供依頼書にて従業員へ情報提供をお願いし、承諾書兼告知書が提出されたら速やかに金庫へ保管している。	A
県、関係機関等との連携体制	①県や関係機関との意思疎通を十分に図る ②緊急時等の対応	①巡回時に異常があった際は、速やかに小沢興業本社へ連絡・報告し、施設破損等報告書の作成と提出を行っている。冬期間中の巡回報告は、県へ報告し、1年を通して情報共有できるようにしている。 ②8月27日に、千貫石森林公園で行われた金ヶ崎町消防団火災防衛訓練へ参加し、消防職員から通報訓練のご指導を頂いた。 不審者や迷惑行為のある場合は、警察に連絡しパトロールを強化してもらおうよう依頼している。	A
(施設所管課評価) ・成果のあった点 施設点検や巡視を行い、随時県に報告を行うことで公園の状況を把握でき、適切な対処を早期に行っている。 ・改善を要する点 特になし。			A

(3) サービスの質

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
運営業務	①窓口受付業務（施設案内や利用方法の説明、苦情等への対応）等の接遇研修や各種事業等の実施 ②公園の安全又は効果的な利用についての指導・助言	①代表者、職員（兼副管理人）、もりの学び舎専属管理人、キャンプ場専属管理人も含めたミーティングを開き、利用者状況や公園内の問題を情報共有および対応について相談している。 ②草刈りや枝打ちを行い、常に案内板や道標・標識等の視界の妨げにならないようにしている。 熊被害の防止策として、熊鈴の貸出・販売を行っている。	A
利用者サービス	①資料作成、配布等による広報活動 ②館内案内及び各種問い合わせへの対応	①ホームページを随時更新し、公園の見どころやイベント情報を提供している。イベント開催の際は、弊社ホ	A

		<p>ホームページ以外にも岩手県や金ヶ崎町の広報ページの活用、新聞各社、広報かねがさき、奥州エフエムなど、様々なメディアを利用してPRに努めた。</p> <p>近隣の駅、店、施設等にパンフレットを置いて頂いた。</p> <p>②千貫石森林公園専用の携帯電話を設置し、対応可能時間の充実を図った。ホームページに、各種申請書をダウンロードできるようにし、申請手続きの利便性アップを図っている。</p>	
利用者アンケート等	<p>①アンケート調査の実施</p> <p>②利用者数等の各種調査</p>	<p>①イベントの際、参加者に対してアンケートの記入をお願いした。アンケート結果の内容は、次回イベントの参考にしている。</p> <p>②専属管理人が毎日記入している業務日誌の利用者数をもとに毎月集計し、定期報告の際に県の担当者へ報告している。この利用者数は、巡回時または実際に来館があったときにカウントしている利用者数である。</p>	A
<p>(施設所管課評価)</p> <p>・成果のあった点 利用者への施設案内や苦情の対応が丁寧に行われ、運營業務が適切に実施された。 特にホームページで、公園の見所やイベント情報をこまめに更新し、積極的に最新の情報を発信した。</p> <p>・改善を要する点 特になし。</p>			A

(4) サービス提供の安定性、継続性

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
事業収支	指定管理者の収支計画と乖離していないこと。	年間を通してみると収支計画とほぼ合致している。	A
指定管理者の経営状況	財務状況が悪化せず持続的にサービスを提供できる水準	計画書とほぼ合致した収支運営ができたため、運営状況は悪化していない。	A
<p>(施設所管課評価)</p> <p>・成果のあった点 概ね計画どおりの収支実績となっており、安定した財務状況のもとで持続的にサービス提供できる水準の確保に努めている。</p> <p>・改善を要する点 特になし。</p>			A

※(注1) 県記載欄:「事業計画・県が求める水準」、「評価指標」「施設所管課評価」

指定管理者記載欄:「実績(自己評価)」

(注2) 評価指標

- A: 協定書、提案書等の内容について高レベルで実施され、また、計画を上回る実績(効果)があり、優れた管理がなされている。
- B: 概ね協定書、提案書等の内容どおり実施され、計画どおりの実績(効果)があり、適切な管理が行われている。
- C: 一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済み、または改善される見込みである。
- D: 協定書等の内容に対し、不適切な事項が認められ、改善を要する。

8 指定開始年度から評価年度までの総合評価

(1) 指定管理者の自己評価

<p>① 成果があった取組み、積極的に取り組んだ事項</p> <ul style="list-style-type: none">・近隣施設からイベント時の利用について、相互協力の体制が取れている。 (千貫石温泉 東館様、岩手県南青少年の家様)・公園利用者と共にイベントを企画し、日頃管理している弊社では気が付かない公園の魅力を知ることができた。また、イベント開催がきっかけとなり更に幅広い利用者の促進へ繋がった。
<p>② 現在、苦慮している事項、今後、改善・工夫したい事項、積極的に取り組みたい事項</p> <ul style="list-style-type: none">・老木が増えてきており、強風や積雪による倒木が多い。道路を塞ぐような倒木は、来園者が不安に感じる場合もある。・不法投棄による労務と処分費用が負担になっている。・ここ数年、大雪に見舞われ、除雪費用を捻出するのに苦慮している。もりの学び舎までの車道開通や駐車場・玄関ポーチを優先し必要最小限の面積に留めている。費用不足分は弊社が業務無償提供している。
<p>③ 県に対する要望、意見等</p> <ul style="list-style-type: none">・園内、携帯電話の電波状態が悪い箇所・繋がらない箇所がある。管理車道通行の際に利用者が道に迷うこともあり、安全面でも改善が必要と思う。・施設の経年劣化による修繕費、自然災害による被害対応及び処理経費が負担になっている。物価高騰が年々進む中で、この修繕費や処理経費を捻出するために他の費用を切り詰めなければならず、収支計画に苦慮している。合わせて、管理人の賃金の増額をしたいが、現状では難しい。

(2) 県による評価等

<p>① 指定管理者の運営状況について</p> <ul style="list-style-type: none">・昨年度は新型コロナウイルス対策により一時閉館した期間があったものの、毎年実施しているイベントの波及効果で、団体での利用が増加した。森林公園を自然の癒しの場としての利用や積極的なPR、関係機関との連携により利用者数は増加し、利用者の満足度は高かった。・公園内の巡視を行い、熊被害等の事故防止に努めた。・施設の定期点検、保安警備、職員の消火訓練等を行い、安全性の確保に努めた管理運営を行なった。
<p>② 県の対応状況について</p> <ul style="list-style-type: none">・毎月の定期報告提出の際に打合せを行い、管理運営や収支の状況について詳細を情報共有し、指導及び質問等に対応した。・施設破損等の事態が生じた場合は、破損等報告書を提出するよう指導し、速やかに対応した。不法投棄や植物の盗掘被害があった際には、関係機関と情報共有のうえ対応した。・施設の備品チェック、建築設備の定期点検を行い、施設の利便性向上・維持保全に努めた。
<p>③ 次期指定管理者選定時における検討課題等</p> <ul style="list-style-type: none">・指定管理者が管理しやすいよう、老朽化した施設の修繕を計画的に実施していく必要がある。・施設の老朽化が著しい場合は、施設自体の利用を検討し、公園利用者の安全確保を図る必要がある。

9 改善状況等

改善を要すると評価された項目（C、D評価の項目について）
改善状況
（指定管理者から県への報告年月日： 年 月 日）
改善状況の確認
（再評価年月日 年 月 日）